



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月30日

上場会社名 アツギ株式会社 上場取引所 東
コード番号 3529 URL <https://www.atsugi.co.jp/>
代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 日光 信二
問合せ先責任者 （役職名） 取締役執行役員管理本部長 （氏名） 古川 雅啓 TEL 046-235-8107
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第1四半期	4,310	△4.2	△522	—	△464	—	△509	—
2025年3月期第1四半期	4,497	△6.2	△284	—	△108	—	22	—

（注）包括利益 2026年3月期第1四半期 △746百万円（－％） 2025年3月期第1四半期 643百万円（△17.8％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△31.86	—
2025年3月期第1四半期	1.40	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第1四半期	39,776	30,915	77.7
2025年3月期	40,847	31,662	77.5

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 30,915百万円 2025年3月期 31,662百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	23,000	5.1	100	—	150	—	100	—	6.24

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	17,319,568株	2025年3月期	17,319,568株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	1,380,688株	2025年3月期	1,301,997株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	15,991,296株	2025年3月期1Q	16,019,865株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、賃上げに伴う雇用・所得環境が改善している一方で米国の通商政策による影響や資源・エネルギー価格の高騰、金利・物価の上昇に伴い、依然として先行き不透明な状況で推移しております。

繊維業界においては、インバウンド需要の減速や物価上昇の長期化等による消費者の生活防衛意識や節約志向の高まり等の影響から消費の縮小がみられ、予断を許さない状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは一刻も早い業績回復と企業体質の強化を実現するべく、収益構造の再構築を行うとともに、顧客視点に立脚した高付加価値商品の拡大、市場における競争力の強化、人的資本経営の推進に取り組んでおります。あわせて、企業ブランド強化策の一環として、「肌と心がよろこぶ、今と未来へ。」をパーパスに、「肌心地から、感動を生み出す フィールウェアのアツギへ。」をビジョンに制定し、グループ一丸となってこれらを実現するための取り組みを進めております。

当第1四半期連結累計期間は、重点取組項目であるD2C (Direct to Consumer) 販売において、顧客目線での商品企画・開発を行った新たなアイテムの展開や、オペレーション体制の強化により自社オンラインショップ及びECモールでの売上が拡大いたしました。また、価格を上回る価値ある商品の企画・開発に取り組み顧客満足度の向上に努めております。しかしながら、消費者の生活防衛意識や節約志向の高まり等により全体の売上高は前年を下回る水準で推移いたしました。利益面においては、商品価格の一部見直しで改善を図りましたが、長引く円安基調による調達コストの高止まり、原燃料価格や物流費、人件費の上昇等により厳しい状況で推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,310百万円（前年同四半期比4.2%減）、営業損失は522百万円（前年同四半期は284百万円の損失）、経常損失は464百万円（前年同四半期は108百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は509百万円（前年同四半期は22百万円の利益）となりました。

セグメント別の経営成績を示すと、次のとおりであります。

〔繊維事業〕

レッグウェア分野は、物価上昇による消費者の生活防衛意識や節約志向の高まり等により、購入単価の高い商品の販売が苦戦したこと等で、同分野の売上高は1,928百万円（前年同四半期比17.9%減）となりました。

インナーウェア分野は、D2C (Direct to Consumer) 販売が好調に推移したこと等により、同分野の売上高は2,045百万円（前年同四半期比10.5%増）となりました。

これらの結果、当事業の売上高は3,973百万円（前年同四半期比5.4%減）、営業損失は638百万円（前年同四半期は402百万円の損失）となりました。

〔不動産事業〕

保有資産の有効活用を進めており、2024年10月より神奈川県海老名市に所有する土地の賃貸を開始したことにより、当事業の売上高は177百万円（前年同四半期比26.7%増）、営業利益は135百万円（前年同四半期比28.5%増）となりました。

〔その他〕

その他の事業につきましては、太陽光発電による売電は天候等の影響により、発電量が減少いたしました。認知症高齢者向け介護施設であるグループホーム及び介護用品の販売につきましては堅調に推移しました。これらの結果、当事業の売上高は159百万円（前年同四半期比0.8%増）、営業利益は20百万円（前年同四半期比21.3%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第 1 四半期連結会計期間末における総資産は39,776百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,070百万円減少いたしました。これは主に、棚卸資産の増加1,220百万円、投資有価証券の増加242百万円、受取手形及び売掛金の減少1,414百万円、現金及び預金の減少729百万円、流動資産のその他の減少288百万円等によるものであります。

負債の部は8,861百万円となり、前連結会計年度末に比べ323百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加355百万円、流動負債のその他の減少495百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少117百万円等によるものであります。

純資産の部は30,915百万円となり、前連結会計年度末に比べ747百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金の減少509百万円、その他の包括利益累計額の減少237百万円等によるものであります。

この結果、当第 1 四半期連結会計期間末の自己資本比率は77.7%（前連結会計年度末は77.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年 3 月期の通期の連結業績予想につきましては、2025年 5 月15日公表の業績予想から変更はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、2018年まではインバウンド特需もあり営業利益を計上しておりましたが、その後の特需の激減、2020年からの新型コロナウイルス感染症を境にレグウェア需要は年々減少傾向にあります。円安の進行、原材料費の上昇、物流費の高止まり、人件費の持続的上昇等により製造原価が上昇したため、市場全般に物価上昇傾向が常態化した時点で、価格調整を実施しましたが、営業損益の黒字化となる水準までには至っていないことから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

このような状況の下、販売面においては、一部商品価格の見直しの実施や、D2C (Direct to Consumer) 販売の拡大等を図ります。生産面においては、中国自社工場の移転に伴う新工場の稼働により、生産工程の自動化による生産効率の改善を図り、営業損失を解消させる計画であります。財務面においては当第 1 四半期連結会計期間末での現金及び預金残高は4,676百万円、自己資本比率は77.7%と、いずれも高い水準にあります。

以上の状況により、継続企業の前提に重要な不確実性が認められないと判断しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (2025年 6 月 30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,406	4,676
受取手形及び売掛金	4,311	2,896
商品及び製品	4,229	5,201
仕掛品	995	1,201
原材料及び貯蔵品	477	519
その他	1,435	1,146
貸倒引当金	△22	△21
流動資産合計	16,832	15,620
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,208	3,145
機械装置及び運搬具（純額）	3,342	3,298
土地	12,745	12,745
建設仮勘定	154	142
その他（純額）	126	138
有形固定資産合計	19,577	19,470
無形固定資産	499	507
投資その他の資産		
投資有価証券	3,702	3,945
その他	234	232
投資その他の資産合計	3,937	4,177
固定資産合計	24,014	24,156
資産合計	40,847	39,776

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,365	1,720
短期借入金	617	606
1年内返済予定の長期借入金	439	321
未払法人税等	146	51
賞与引当金	53	29
その他	2,612	2,117
流動負債合計	5,236	4,846
固定負債		
繰延税金負債	944	940
再評価に係る繰延税金負債	1,324	1,324
退職給付に係る負債	883	900
その他	795	849
固定負債合計	3,948	4,014
負債合計	9,184	8,861
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	10,272	10,272
利益剰余金	△1,110	△1,620
自己株式	△1,470	△1,471
株主資本合計	27,690	27,180
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,357	1,519
繰延ヘッジ損益	384	143
土地再評価差額金	351	351
為替換算調整勘定	1,878	1,720
その他の包括利益累計額合計	3,971	3,734
純資産合計	31,662	30,915
負債純資産合計	40,847	39,776

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 6 月 30 日)
売上高	4,497	4,310
売上原価	2,949	2,969
売上総利益	1,547	1,341
販売費及び一般管理費	1,832	1,863
営業損失(△)	△284	△522
営業外収益		
受取利息及び配当金	79	40
為替差益	99	18
その他	6	15
営業外収益合計	185	74
営業外費用		
支払利息	3	7
租税公課	2	7
その他	2	2
営業外費用合計	8	17
経常損失(△)	△108	△464
特別利益		
固定資産売却益	—	3
投資有価証券売却益	98	—
特別利益合計	98	3
特別損失		
固定資産売却損	—	3
固定資産除却損	1	1
特別損失合計	1	4
税金等調整前四半期純損失(△)	△11	△466
法人税、住民税及び事業税	51	12
法人税等調整額	△85	30
法人税等合計	△33	42
四半期純利益又は四半期純損失(△)	22	△509
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	22	△509

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 6 月 30 日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	22	△509
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△71	161
繰延ヘッジ損益	228	△241
為替換算調整勘定	464	△157
その他の包括利益合計	621	△237
四半期包括利益	643	△746
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	643	△746

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
レッグウェア	2,348	—	2,348	—	2,348	—	2,348
インナーウェア	1,850	—	1,850	—	1,850	—	1,850
その他	—	—	—	157	157	—	157
顧客との契約から生じる収益	4,199	—	4,199	157	4,357	—	4,357
その他の収益	—	140	140	—	140	—	140
外部顧客への売上高	4,199	140	4,339	157	4,497	—	4,497
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,199	140	4,339	157	4,497	—	4,497
セグメント利益又は損失(△)	△402	105	△297	25	△271	△13	△284

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の仕入、販売、グループホームの運営及び太陽光発電による売電であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない本社等の土地・建物(転用を検討中の土地・建物を含む)に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
レッグウェア	1,928	—	1,928	—	1,928	—	1,928
インナーウェア	2,045	—	2,045	—	2,045	—	2,045
その他	—	—	—	159	159	—	159
顧客との契約から生じる収益	3,973	—	3,973	159	4,133	—	4,133
その他の収益	—	177	177	—	177	—	177
外部顧客への売上高	3,973	177	4,151	159	4,310	—	4,310
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	0	—	0	△0	—
計	3,974	177	4,151	159	4,310	△0	4,310
セグメント利益又は損失（△）	△638	135	△502	20	△482	△39	△522

（注） 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の仕入、販売、グループホームの運営及び太陽光発電による売電であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない本社等の土地・建物（転用を検討中の土地・建物を含む）に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
減価償却費	121百万円	130百万円